

「ながの花と緑大賞2020」選考審査の方法

(審査と受賞作品の決定)

- ① 応募調書と現地審査により、下記の審査項目①～④について採点を行い合計点数を出します。(作品の感想、課題等は自由記載欄に記載しておいてください。)
- ② 審査シートを回収し、審査員全員の採点を合計します。
- ③ ②の結果をもとに協議選考し、市長が受賞作品を決定します。

(緑化活動の部審査例)

応募調書No.	応募者名称	審査基準	採点					点数	合計	自由記載欄 (作品の感想等について記入してください。)
○	○ ○ ○ ○	①花と緑の活動内容はどうか (公共性/継続性/向上性/交流性/企業努力/その他工夫)	1	2	3	4	5	5	18	目的、活動ともに公共性が高く企業が進める緑化の先進事例であり、模範である。 宿根草をメインに季節の一年草を上手く取り入れ色鮮やか。 植物もみずみずしく、花壇もきれいに整備されている。 雨水を有効活用している。 蝶や鳥等生物を配慮した樹種の選定。
		②花壇等のデザインはどうか (植物の色調と配置/適材適所/宿根草と一年草のバランス/季節感/その他工夫)	1	2	3	4	5	4		
		③花壇等の維持管理はどうか (植物の様子/除草や水遣り/その他工夫)	1	2	3	4	5	5		
		④環境配慮の取り組みはどうか (生物多様性の配慮/生ごみ堆肥化/雨水利用/農薬の制限/その他工夫)	1	2	3	4	5	4		

— 審査基準の説明 —

①花と緑の活動状況はどうか

- (1) 活動の公共性 (2) 活動の継続性 (3) 活動の向上性 (種子や挿し木の活用、学習会など)
(4) 地域内外との交流性 (主に個人や団体、グループの場合) (5) 企業としての緑化努力 (社員の関わり・模範企業) (6) その他工夫

②花壇等のデザインはどうか

- (1) 植物の色調や高低等配置のバランス (2) 適材適所 (耐暑性や耐寒性等の配慮) (3) 季節性 (季節の取り入れ)
(4) 宿根草と一年草の利用バランス (5) その他工夫 (地域、団体、企業独自の工夫)

③花壇等の維持管理はどうか

- (1) 植物の様子 (2) 除草や水遣りの状況 (3) その他の工夫 (独自の工夫)

④環境配慮の取り組みはどうか

- (1) 生物多様性の配慮 (2) 花殻や生ごみの堆肥化利用 (3) 雨水の活用 (4) その他工夫 (廃材の活用等)

(愛護活動の部 審査シート)

1	○ ○ ○ ○	①活動が地域の活性化やコミュニケーションづくりに役立っているか	※愛護活動は左記の審査基準により事務局選考
		②活動に創意工夫や努力がみられるか	
		③活動が1年以上継続され、今後も継続性が見られるか	
		④年間を通じて計画的かつ適切な活動がなされているか	